

大学院進学者のための 海外英語短期研修



英語ができる
大学院生
になる!

実質負担額
約10万円

2019年
SPRING

2 / 24 SUN
3 / 16 SAT



CHUBU UNIVERSITY



地球の歩き方
成功する留学
GIO CLUB Study Abroad

研修の概要

研修期間／ 2019年2月24日(日)～3月16日(土) 3週間

研修先／ CPILS (フィリピン・セブ島)

定員／ 20名 (最少催行人数6名)

対象／ 本学学部4年生で、各研究科の実施する大学院入学試験(6月試験または10月試験)に合格し、各研究科の推薦する者

滞在先／ CPILS 学生寮 (3名1部屋 ※他国の留学生と同室の予定)

研修内容／ General ESL コース (1日、マンツーマン3コマ+グループ4コマ)
※英語でのプレゼンテーションとディスカッション能力の向上を目指すプログラム

研修費用／ 299,800円 (費用に含まれるもの、含まれないものは裏面参照)

奨学金／ 200,000円 (給付型・返還不要)

フィリピン



名称 フィリピン共和国
Republic of the Philippines

首都 メトロ・マニラ (通称マニラ)

言語 英語、タガログ語、その他

気候 年間を通して暖かい熱帯性気候、年平均気温は26～27℃

宗教 カトリック83%、イスラム教5%、その他12%

フィリピン留学がいま人気の理由

英語が公用語化されるまでは、フィリピンが先進国に追いつくためには流暢で優れた英語力が不可欠でした。そのため、メディアや教育現場はすべて英語で統一され、英語が公用語化されてから生まれた30代以下の世代は、きれいなアメリカ英語を話します。今では英語公用語人口は世界第3位を誇り、英語を駆使して海外で仕事の成功をおさめるフィリピン人も多くいます。タガログ語やビサヤ語などを本来の第一言語として持ち、英語はあくまでも第二言語として習得するため、これから英語を学ぼうとしている英語が話せない人の気持ちも理解しています。

フィリピンの治安

安心・安全な国に住んでいる日本人にとって、フィリピンは決して安全な国とは言いきれません。しかし、研修先の語学学校 CPILS のあるエリアは日常的に危険を感じることはありません。セブ島滞在中のグループ移動は全て専用車となります。CPILS は、24時間体制で警備員が常駐し、防犯カメラも30台以上設置され安全です。日本人スタッフも常勤し夜間を含む万一のトラブルにも迅速に対応します。

フィリピンの衛生面

フィリピンはインフラが整っておらず、日本よりも遅れた状態であるのは確かです。そのため、水道水や屋台での飲食は避けたほうが安全です。ただし、学校の中には各所に無料で使えるウォーターサーバーが設置されており、売店やコンビニでボトルのミネラルウォーターを安く買うこともできます。日本との違いをしっかりと認識し、健康に過ごせるよう努めましょう。

研修日程表

研修スケジュール

日次	日・曜日	滞在地	スケジュール	食事
1	2/24 (日)	中部空港 セブ島	中部国際空港集合 フィリピン航空479便(15:25発-19:10着)にてセブ島へ セブ空港到着後、専用車にてCPILS学生寮へ移動	朝: X 昼: 機内 夕: O
2	2/25 (月)	セブ島	レベルチェックテスト、オリエンテーションの実施 その後日用品購入や両替などの為ショッピングモールへ	朝: O 昼: O 夕: O
3	2/26 (火)	セブ島	月～金: 1日7コマ英語研修	朝: O 昼: O 夕: O
4	3/15 (金)		土: アイランドホッピング、ボランティア、ショッピングツアーに参加 日祝: 各自で自由にお過ごしください	朝: O 昼: O 夕: O
21	3/16 (土)	セブ島 中部空港	CPILSロビー集合後、専用車にてセブ空港へ移動 フィリピン航空480便(09:15発-14:25着)にて中部国際空港へ 中部国際空港到着後解散	朝: O 昼: 機内 夕: X

1日のスケジュール

クラス内容	
7:00～8:00	朝食
1限 8:00～8:50	マンツーマンレッスン
2限 9:00～9:50	マンツーマンレッスン
3限 10:00～10:50	マンツーマンレッスン
4限 11:00～11:50	休憩
11:50～12:50	昼食
5限 12:50～13:40	グルーブレッスン (4名)
6限 13:50～14:40	グルーブレッスン (4名)
7限 14:50～15:40	グルーブレッスン (8名)
8限 15:50～16:40	グルーブレッスン (8名)
9限 16:40～17:40	自習
17:40～18:40	夕食

※金曜日は40分授業となります。
※祝日は休校となります。
※レッスンの順番はレベルチェックテストの結果により異なることがあります。



警備員が常駐するCPILS入口



CPILS内の売店



落ち着いた雰囲気自習室



自由に利用できるジム

研修コースの内容

この研修のポイント

- ◆ 安価な研修費用でしっかりと学べる
- ◆ マンツーマンレッスンを中心とした英語研修
- ◆ 2001年設立セブ島初の英語研修学校 CPILS で受講
- ◆ CPILS は TOEIC の公式試験会場に認定
- ◆ CPILS には 2名の日本人スタッフが常駐
- ◆ 滞在は安心の CPILS 内にある学生寮（食事・清掃洗濯サービス付き）
- ◆ 英語教育の経験豊かなフィリピン人講師と英国人などのネイティブ講師が授業を担当
- ◆ ヨーロッパやロシアからの留学生も受講しているインターナショナルな雰囲気



1対1のマンツーマンレッスン

研修内容

授業は英会話上達の効果を最大限に高める混合形式のレッスンから成り立っており、受講者の弱点を克服することに焦点をあてた組織化された様々なカリキュラムを取り入れて授業が行われます。英語の4技能（読む、書く、聞く、話す）に加え文法、読解力、作文などの弱点を集中的に学習して短期間でも可能な限り効果を導き出します。

1対1 マンツーマンレッスン（1日3コマ：フィリピン人講師）

英語が全く話せない人や英語学習者にとって効率的で理想的な授業方式です。自分の弱点や克服したい部分を重点的に学習し、短期間で高い効果を得ることができます。プレゼンテーションやディスカッションの学習も行います。

4対1 グループレッスン（1日2コマ：4名クラス：フィリピン人講師）

同レベルの受講者4名に対し講師1名が担当します。与えられた課題に学生同士での共同作業やディスカッションが求められ、お互いに理解を深め英語力を高める学習を実施します。

8対1 グループレッスン（1日2コマ：8名クラス：ネイティブ講師）

同レベルの受講者8名に対してイギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの英語圏出身の講師1名が授業を担当します。英語圏講師の発音や独自の表現を学ぶことができます。



4対1のグループレッスン



週末はアイランドホッピングも



ショッピングモール



ボランティアの体験も行います

研修校 CPILS (Center for Premier International Language Studies) について

ハイレベルな講師

講師陣はそれぞれの国の ESL 教育分野で認められたアメリカ、カナダ等のネイティブスピーカーと、英語を母国語のように駆使するフィリピンの英会話講師で構成されています。独自の講師教育機関を毎週受講し、外国人へ英語を教える方法を常に向上させ、これまでに多くの日本人を指導してきた経験豊富な講師が多く在籍しています。



自慢の CPILS 講師



万全のサポート体制と学内環境

CPILS には 2人の日本人スタッフや海外で看護師を行っていたスタッフも勤務しています。また、セブ中心にある病院と提携しており、週に1回検診（無料）に来ています。教室や学生寮、カフェテリアの他、プール、インターネットルーム、自習室、視聴覚室、ジム、売店なども完備しています。学生寮にはベッド、机、クローゼット、バスルーム、エアコンが備え付けられています。



校内には保健室も完備

フィリピン政府の推奨校

CPILS は 2008年にセブ島唯一のフィリピン政府観光省の正式な ESL パートナー校として認定されました。また、フィリピン労働雇用技術教育技能庁 (TESDA) に正式登録されている質の高い学校です。

18段階のレベル分けシステム

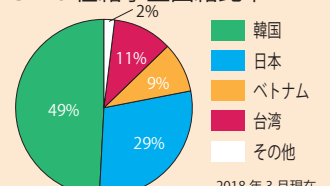
授業初日にレベルチェックを行います。レベルはビギナーからアドバンスに分かれ、さらにそれぞれの中で3段階に分かれ、合計18段階あります。自分のレベルに応じた学生同士とのクラス授業となります。

Beginner	Elementary	Intermediate
レベル1	レベル2	レベル3
L M H	L M H	L M H
Intermediate	Advance	Advance
レベル4	レベル5	レベル6
L M H	L M H	L M H

18段階の細かいレベル分け

CPILS は、2001年7月にセブ島初の英語教育機関として誕生しました。これまでの利用者数は3万人を超え、学生からシニア層まで幅広い年齢の方々から定評ある英語学校です。またフィリピン唯一の日韓カナダ合同資本学校なので、日本人利用者のニーズに合わせた学習カリキュラムや生活環境作りも行います。

CPILS 在籍学生国籍比率



2018年3月現在

参加申し込み・出発前の手続きについて

1. 応募資格 次のすべての条件を満たす者

1. 本学学部4年生で、各研究科の実施する大学院試験（6月試験または10月試験）に合格した者
2. 心身ともに健康であり、研修先で学業遂行と自己管理ができる者
3. 誓約書の内容を理解し守ることができる者

2. 応募方法・受付期間

募集要項および旅行条件を確認し、締切日までに「参加申込書」を記入のうえ、国際センターに提出してください。

- ・受付期間【一次募集（6月の大学院試験合格者）】：6月18日（月）～7月5日（木）
【二次募集（10月の大学院試験合格者）】：10月19日（金）～10月24日（水）
※一次募集による選考で定員が充足した場合は二次募集は行いません。
- ・提出先 中部大学 国際センター（キャンパスプラザ2階）
- ・受付時間【月～金】9:00～18:00【土】9:00～12:00

3. 選考 各研究科が行いますので、各学部事務室等で確認してください。

4. 結果通知 次の期日までに国際センターより応募者本人宛に通知します。

【一次募集】8月3日（金）【二次募集】11月9日（金）

5. オリエンテーション等（予定）※必ず参加してください。日程は変更される場合があります。

- 第1回オリエンテーション：12月中旬
CASEC 英語コミュニケーション能力判定テスト（必須）：1月
危機管理オリエンテーション：1月23日（水）15:20～18:00
- 第2回オリエンテーション：2月上旬
帰国後オリエンテーション、CASEC 英語コミュニケーション能力判定テスト（必須）：3月下旬

6. 海外旅行保険への加入【中部大学包括保険制度への加入が義務付けられています】

病気、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への賠償金請求や賠償金の回収が大変困難なのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、十分な額の海外旅行保険に加入する必要があります。中部大学包括保険制度は十分な補償に加え、割引も適用されていますので安心して加入できます。加入については、オリエンテーション時に案内します。

7. 費用の支払い 出発の約1カ月前

- ※注意
1. この研修期間には、再評価試験期間および追・再評価試験期間（2月23日～3月1日）が含まれています。また、各学科で行われる卒業研究の発表や審査等がこの期間に行われることも考えられます。このことをよく理解して申し込んでください。
 2. 参加手続き後に健康上の問題が発生した場合、参加取り消しとなる可能性があります。その際に発生するキャンセル料は学生の自己負担となります。

中部大学 大学院進学者短期研修奨学金

1. 支給金額

20万円（給付型・返還不要）

2. 支給人数

最大20名

※以下の人数を上限として各研究科が受給対象者を推薦します。応募状況に応じて調整することがあります。

工学研究科	6名
経営情報学研究科	3名
国際人間学研究科	3名
応用生物学研究科	4名
生命健康科学研究科	3名
教育学研究科	1名

3. 選考基準

1. 各研究科が定める成績水準・英語運用能力を満たしていること
2. 研修参加後、本学の修士課程または博士前期課程に在学する間、語学教育センターのPASEOを受講する等により英語学習を継続すること
3. 研修参加後、留学フェア・各大学院進学者説明会等本学の国際交流行事に協力すること

4. 支給時期

出発前（口座振込み）

5. 支給停止

1. プログラムへの参加が取り消された場合
2. プログラム参加者が提出する誓約書の記載事項に反する行為が認められた場合
3. 受給者が大学院への進学を取りやめた場合

研修費用に含まれるもの・含まれないもの

【研修費用に含まれるもの】※下記費用に係わる消費税・諸税相当額を含む。

- ① 航空運賃：日程表に記載された全ての利用航空運賃
 - ② 空港送迎費用：往路海外所定の空港から宿泊先と復路宿泊先から海外所定の空港まで
 - ③ 現地研修費用：全ての英語研修費用と教材費、SSP費用*
 - ④ 滞在費用：学生寮宿泊費用（3名1部屋）と宿泊手配費用、施設管理費、光熱費、ID発行代、下着類以外の洗濯費用
 - ⑤ 食事費用：スケジュール記載の食事費用（月～土：3食、日：2食）
 - ⑥ 空港サポート費用：往路と復路国内所定の空港での搭乗手続きサポート費用
 - ⑦ 現地サポート料金：地球の歩き方セブデスクによる電話での24時間緊急サポート費用
 - ⑧ アクティビティ費用（2日間）：アイランドホッピングツアー（1日）、ボランティア、ショッピングツアー（1日）
 - ⑨ 企画料金：32,400円/税込（受注型企画旅行）
 - ⑩ 事前事後のオリエンテーション実施費用（4回）
 - ⑪ フィリピン人講師によるマンツーマンオンライン英会話レッスン（10回）
- * SSP費用：SSP（Special Study Permit）はフィリピン国内で合法的に勉強するために必要な特別就学許可書です。留学先の語学学校が代行申請いたします。

【研修費用に含まれないもの】※原則として左記以外のもの

- ① 燃油特別付加運賃・空港税：約3,000円～6,000円（航空会社が旅客に対し一律に付加するもの）
- ② 超過手荷物運搬料金：手荷物規定の範囲を超えるもの
- ③ 国内交通費：自宅から発着空港までの国内交通費
- ④ 食事費用：スケジュール記載以外の飲食費用
- ⑤ 海外旅行保険：中部大学包括保険制度による保険費用（約13,000円）、保険対象外の疾病に対する医療費及びそれに付随する費用【必須】
- ⑥ レンタル携帯電話費用：通話料・データ通信料・ユニバーサル料金（中部大学指定の海外用携帯電話またはSIMカードのレンタル）【必須】
- ⑦ パスポート取得費用：5年用/11,000円 10年用/16,000円（各自で取得すること）
- ⑧ 出発前・帰国後のCASEC受験料（2回）：5,100円（各2,550円）【必須】
- ⑨ その他：個人的な諸費用（小遣い、電話代、通信代、交通費等）

【お問い合わせ先：プログラム企画】

中部大学 国際センター
487-8501 愛知県春日井市松本町1200
TEL: 0568-51-4694 FAX: 0568-51-1172
E-mail: cip-o@office.chubu.ac.jp
https://www3.chubu.ac.jp/international_exchange/
月～金曜日…午前9時～午後6時（授業日・補講日・期末試験日以外は午後5時まで）
土曜日…午前9時～正午

【お問い合わせ先：旅行企画・実施】

株式会社地球の歩き方 T&E 名古屋デスク
461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル B1
TEL: 052-959-1021 FAX: 052-959-1024
総合旅行業務取扱管理：西森 朋幸（nishimori@studyabroad.co.jp）
月曜～金曜…10:30～19:00
土曜…10:00～18:00
日曜・祝日…休業



CHUBU UNIVERSITY



地球の歩き方
成功する留学
GIO CLUB Study Abroad